

科目名	財務諸表論	科目分類	■ 専門科目群 □ 総合科目群		
			経済学科	□ 必修 ■ 選択	
			学科	□ 必修 □ 選択	
英文表記	Financial Statements	開講年次	□ 1 年 ■ 2 年 □ 3 年 □ 4 年		
		開講期間	□ 前期 ■ 後期 □ 通年 □ 集中		
ふりがな	すずき ひとし	実務家教員担当科目		修得単位	2 単位
担当者名	鈴木 寿	実施方法	■ 対面のみ □ 遠隔のみ □ 対面 遠隔併用		
授業のテーマ	日商簿記検定 1 級に準拠し、「財務会計」を中心とした『会計学』を学ぶ。極めて高度な商業簿記・会計学を修得します				
到達目標	この授業の単位を修得した場合、次のような知識・能力を修得できます。 1, 財務会計に関する知識と技術を習得し、会計責任を果たすことの重要性について理解する 2, 会計情報を提供し、活用する能力と態度を育てる。				
授業概要	日商簿記検定 1 級は公認会計士、税理士などの国家資格への登竜門として位置づけられています。本講義では、日商簿記検定 1 級に準拠した、財務会計を行う上で守るべきルールについて紹介します。大企業における企業活動のすべての会計処理を、会計基準や会社法、財務諸表等規則などの企業会計に関する法規を踏まえて理解し行うことができます。				
授業計画					
第 1 回	財務会計と会計基準				
第 2 回	資産の評価・期末棚卸商品評価				
第 3 回	有価証券・固定資産				
第 4 回	減損会計				
第 5 回	無形固定資産				
第 6 回	負債会計				
第 7 回	リース会計				
第 8 回	外貨換算会計				
第 9 回	純資産会計				
第 10 回	企業結合				
第 11 回	連結会計・持分法				
第 12 回	在外支店				
第 13 回	キャッシュ・フロー計算書				
第 14 回	税効果会計				
第 15 回	財務諸表の活用				
第 16 回	定期試験				
授業時間外の学習	前回までの講義内容を確認の上、毎回講義に臨むこと。(1 時間程度) 本学図書館では、日商簿記検定関係図書が充実しており、積極的に活用してください。				
履修条件 受講のルール	日商簿記 2 級レベルの知識があることを前提に授業を進めます。 適宜資料を提示・配付しますが、事前に連絡が無く欠席した学生には原則配付しませんので、友人同士でコピーして下さい。				
テキスト	適宜提示・配付する。				
参考文献 資料	「使える財務会計Ⅱ」 編著 桑原知之 ネットスクール出版 「日商簿記 1 級 みんなが欲しかった!簿記の教科書【商業簿記・会計学】-第 9 版-」 TAC 出版				
成績評価の方法	定期試験および外部試験結果を含め、総合考慮する 出席確認時に不在だった場合は原則としてその回は欠席とします。				

	・授業中に無許可で退出した場合は欠席とします。 ※出席回数が規定に満たなかった場合及び授業料その他納入金等の全額を納めていない場合は試験を受けることができません。
オフィスアワー	講義終了後
成績評価基準	秀(100～90点)、優(89～80点)、良(79～70点)、可(69～60点)、不可(59点以下)
実務経験及び 実務を活かした 授業内容	長年にわたり簿記・会計資格取得のための指導・助言を行っています。近年、簿記検定試験の内容は大幅にリニューアルし、激変する企業会計実務へ対応するための高度な実務的専門能力を求めています。検定問題を通して、現代企業の日々の経営活動・最新の経理会計を紹介していきたいと思います。
学生への メッセージ	本講義では、多くの日商簿記検定問題を活用して進めていきます。履修した学生諸氏には、積極的に簿記検定を受験し、資格取得を目指してほしいと思います。